

長崎新聞がお届けする
長崎県内の大学・企業・就活情報紙

[エヌアール]

“長崎読本”

What's NR?

大学生・高校生を中心とした若者を担い手として、
長崎の情報を読み(Read)、
長崎の風土、生活(Region)、
大学、企業、働き方(Recruit)などを通し、
次代の長崎を築いていこうとの
思いを込めています。

NR

Nagasaki Reader

 長崎新聞

企画・発行 長崎新聞社NR編集部

 @nagasaki_NR

 TBS



No.013
2018
November

11

Take Free



教えて
センパイ!

就職内定者座談会

就職内定が決まった学生が、就職活動で体験したことを話す「就活座談会」を開催。
地元への就職について、企業選びについて、就活期間について、お金についてなど、これ
から就活を始める後輩に向けてのアドバイスを聞きました。

index

- 02-04 巻頭特集
- 06-07 フロントライン、トピックス
- 08 Information、就活アンテナ
- 09-10 キャンパス通信
- 12-13 長崎県内企業ガイド
- 14 業界図鑑
- 15 長崎で働く先輩トーク
- 17 就活メソッド!
- 18-19 企業・経済NEWS
- 20 アラカルト・エヌアール

内定者座談会 シューカツトーク!

2018年3月卒業の県内の大学、短大、高専の就職者数のうち、県内に就職した割合は42.7%。「売り手市場」とされる経済状況などもあって、県内就職率は伸び悩んでいます。県内での就職内定が決まった学生に集ってもらい座談会を開催。「なぜ地元を選んだのか」など気になる本音を聞きました。

参加者紹介



宮原弘成さん

長崎南高校出身。長崎大学環境科学部環境科学科環境政策コース
長崎県庁

後援へ一言

「しっかりと予定を立て、先を見据えて動いていけば目標を達成できると思います」



荒木優さん

鳥原高校出身。長崎国際大学薬学部薬学科
長崎県島原病院

後援へ一言

「自分の個性を隠さず、自信を持って前向きに就活を楽しんでください」



川久保忍さん

川部高校出身。長崎県立大学経済学部地域政策学科
親和銀行

後援へ一言

「何とかなる」「自分なら大丈夫」といった心のモチベーションを高く持っておこう！」



石井菜緒さん

師心女子高校出身。長崎師心大学人文学部英語情報学科
チューリッヒ保険会社

後援へ一言

「できるだけたくさん企業の出会い、最後まで諦めずに頑張ってください」



平山哲朗さん

西原高校出身。長崎総合科学大学工学部工学科船舶工学コース
大島造船所

後援へ一言

「自分の内面と向き合い、自分の軸(価値観)をつくり、自信を持って就活に挑みましょう」



木下春香さん

長崎女子高校出身。長崎女子短期大学幼児教育学科
児童養護施設マリア園

後援へ一言

「面接では緊張しすぎずに自然な笑顔で臨み、ハキハキと話すことが大切です！」

地元長崎で働く理由

生まれ育った地域に恩返しを!

(司会) まずは、1人ずつ、どうして地元への就職を選んだのかを聞かせてください。

宮 「やりたい仕事」「街づくり」。広く社会のために考えたとき、民間企業ではなく公務員として働きたいと思いました。長崎から離れる若者が少ないという現実の中で、生まれ育った長崎を盛り上げ、長崎に恩返しをしたいという思いで地元での就職を決めました」

平 「最初は地元の島原市で働くとは思ってなくて、いろんな企業の見学に行きました。しかし都会に出たからといって私が目指す仕事があるわけではないと気づきました。そんな中、実習先の島原病院で接した方々がみんな温かく、患者さんも、地元だから話しやすいというのもあり、地元もいいなと思うように。都会に出たいと思っけても、住むのは違うのかなど。自分のベストな生活を優先させると、やっぱり島原だと思いました」

川 「ずっと実家暮らしだったので、そろそろ一人暮らしをしようと大阪とか東京とか都会での就職を考えていました。でも、長崎にもたくさんの企業があり、やりたい業種の企業もある。今まで地域のつながりを感じながら生きてきたので、今度は自分が地域を支える立場になればいいと思い地元で決めました」

石 「県外の企業の面接や、内定をいただいた福岡のある企業の懇親会で「長崎には何もなし」など、マイナスなイメージを言われることがあり、あらためて地元を見ると、長崎には良いところがたくさんあると気づきました。ほかの人より遅くなってしまったのですが、7月から長崎での就職活動

を始めました」

平 「長崎で働きたいというより、以前からスケールの大きな仕事をしたというのがありました。県外か地元かと考えたとき、自分が都会があまり好きではないというのもあり、地元で働くことを選択。両親や先輩、先生に相談すると、長崎でスケールの大きな仕事といえば「造船」だと。そこら船を造る仕事に絞って業界研究、企業研究をしていきました」

木 「私は最初から長崎から出るつもりはありませんでした。児童養護施設に実習に行き、職員の方々や子どもたちの雰囲気を見て、やっぱり長崎はいいなと感じました。そのように感じられたのは、地元だという安心感など、自分の心にゆとりがあったからだと思います。子どもたちの役に立ちたい、地域貢献したいと考えると、長崎で就職するしかないと思いました」

(司会) 自分なりの会社選びの基準はありましたか?

石 「私は自分がやりたいことを重視しました。認定を持っている薬剤師のもとで働けるのはとてもいい環境です。そういう先輩がいるところで働きながら自分もキャリアアップしていきたいと思いました」

木 「私もしたいことができる職場というのを大事にして選びました。1番は子どもと関われる仕事であること。それと安心して働くために地元で就職をしたいと考えて選びました。友達や家族が近くにいることで、何かあった時に頼ることができるのがいいですね。自分の心に余裕がないと、子どもたちにいい影響を与えないと思うので」

宮 「自分がしたいことと、長崎にずっと住めるといこと。そして安定を重視した結果、地方公務員を目指すことになりました。県外に進学した人が「長崎に戻ってきた」と思えるような街づくりができればと思います」

石 「私は特にしたい仕事があったわけではありませんでした。だからこそ長崎で自分が何をしたいのかを見つけてもいいのではと考えるようになりました。内定をいただいた会社からは、長崎のプラスの部分の評価してもらったのがうれしくて、「ここで働きたい」と思い、その思いを伝えました。職場の雰囲気は、職場見学や先輩社員との交流から判断しました」

平 「インターンシップでの経験が判断の材料になりました。造船業が盛んな瀬戸内地域にも行ったのですが、その土地の人や先輩の話聞くことができ、「長崎と比べてどうですか?」と質問すると、「長崎が恋しい」との声も。県外の生活が自分には合わないかもしれないという不安や、長崎ならではの魅力を再確認することができました」

川 「僕はサークルの先輩にこんな企業があるよと勧められたのがきっかけです。話を聞くうちに「こんなこともやっているんだ」と、興味が出てきました。会社選びは、企業の雰囲気かつ、長崎とどう関わっているかという点。銀行と企業でどうやって地域を盛り上げていくか、何ができるのかというところを見て決めました」



気になるお金の話も!

地元優先で節約も可能

(司会)なるほど。では実際に何社ぐらい受けましたか?

川「僕は2社。会社説明会などでは金融以外の業種の話も聞いたのですが、どの業種でも共通して関連するのが人とお金。それに気付いてからは、金融業に興味が出てきました」

石「私は県外3社、県内3社受けました。県外は大学で学んだことが生かせる企業を、県内では職場の雰囲気重視しました」



宮「筆記試験は県庁を含めて5つ。全て公務員です」

平「私は内定をいただいた1社だけ受けましたが、同じ企業の受験者には、30社受けたという人がいました。人生で1度の就活なので、経験としてとにかく多く受けたいという考えだったようです」

(司会)後輩の中には金銭面を心配している人もいます。皆さんはどのくらい費用はかかりましたか?

川「地元企業に絞っていたので、往復の電車代や自分の車で行った時の駐車場代ぐらい。1万円ほどでした。あとはスーツ代。入学式の時のものが着られなくなったので購入しました。参考書なども必要ではなかったので、あまりお金はかかりませんでした」

石「福岡で面接があることが多かったので、JRの割引切符を利用しました。1万円ぐらいだったと思います。なるべく1日数社の面接ができるようにスケジュールを調整したり、合同企業説明会などは大学が手配したバスで行ったりと節約しました」

宮「僕は3年生の10月から予備校に通ったので、夜間だけだったのですが全部で20万円ほど。それに国家系の試験は福岡であることが多く、前日から宿泊することもあり、交通費、宿泊代で5、6万円はかかっていると思います。3月までアルバイトをしていたのでそのお金と、親からの援助で賄いました」

(司会)こうしておけば良かったなというような、今だから話せる失敗談はありますか?

川「合同企業説明会に行かなかったのが失敗でした。後で、興味を持った企業が2社出てきて、別々に説明会に行かなければいけなくなった。時間と交通費がより多くかかりました。いろんなイベントは活用した方が効率的です」

木「就活期間と実習期間が重なってしまっていて、実習の準備ばかりに気がとられてしまうこともありました。特に面接の日が実習開始の前日だったときには、バタバタと資料を集めたり、面接の練習をしたり。もっと早くから就職活動の準備をしておけば良かったと思いました」

平「内定をいただいた企業の話なんですが、履歴書やエントリーシートの提出期限を間違っていて、締め切り前日になって、慌てて大学に電話。資料をもらいに行き、迷惑をかけてしまいました。しっかり確認しなければと思いました」



ここだけは伝えておきたい

就活で大事なポイント

(司会)就活中には、やらなければいけないことも少なくないと思いますが、特に大事なものはどれでしたか?

石「合同企業説明会などでたくさんの企業の話聞くことが大事だと思います。いろんな職種の話聞くことによって、自分の考えが変わったりすることもあるので。実際に私が変わったので」

宮「試験に受かるという目標を達成するためには、1カ月だったり、1週間だったり、短いスパンでの目標設定が必要。そうすることで効率面でも、経済面でも、負担なく勉強に取り組みます。初めて学ぶ科目も多いので、1週間でここまで終わらせるという計画を立てて、1週間後には確認をすること、しっかりスケジュール帳などにメモしていくことが、筆記試験を受ける上で重要なことだと思います」

平「たくさんの企業がある中で、都会がいいとか、給料が多いとか、住む環境がいいとか、休みがたくさんあるとか、さまざまな要素で比べると思いますが、1番自分が譲れないところを確定した方が、自分にあっている

企業を選べるんじゃないかなと思います」

(司会)一生のことを決める就活。大変なことも多かったでしょうが、そんな中でも楽しさを感じたことはありますか?

平「面接時に、エピソードを交えて話をしていて、面接官の表情から話が伝わったと思えた瞬間はうれしかったです」

川「インターンシップが終わった後に、1日、2日休みをとって、おいしい物を食べに行ったり、見たい物を見に行ったりしていました」

木「一緒に受ける人は年上の人が多く、先輩だから分かることなどを教えてもらって、普段あまりかかわることがない年代の人と親しくなったのがうれしかったです」

(司会)最後に、残りの大学生活でしたいことや、社会人になったらやりたいことなどを教えてください。

平「長崎で就職する友達と一緒に、自転車で長崎一周する計画があります。何も考えずに走ろう!って」

川「長崎をもっと知ろうと思います。コミュニケーションツールの一つとして、ごちんまりとしたカフェなど、話のネタを見つけに行きたいです」

木「まとまった金額が毎月入ってくるので、定期預金をしたいと思っています」

石「旅行が好きなので、短期間でも旅行ができればいいなと思っています」

平「10年後の自分を考えていて、1年ずつキャリアアップしていきたいです。プライベートでは海外旅行に行きたいです」

宮「仕事の面では、長崎で形に残る仕事をしたいと思っています。民間企業に向向することもあるそうなので、それも経験してみたいです。プライベートでは、大きな買い物ができるようになるので車を買いたいです」



司会はNR編集部記者が担当しました

残りの大学生活を楽しんでください。
そして春からは新しい気持ちで
それぞれの職場で頑張ってください!



座談会に出席してくれた皆さん